

天王寺小学校「報告書」

(講話) ・ 研修会 ・ 授業 (記録用)	
日 時	平成 30年 1月 15日 (14時 50分 ~ 15時 35分)
校 園 名	天王寺小学校
名 称	学校保健委員会
対 象	園児 (児童) 生徒 (保護者) (教職員) その他 (約 25名)
講 師	西本 達哉 (学校歯科医) ・ 大手 明俊 (学校医) ・ 可児 佐和子 (学校医)
演 題	「けがの予防と応急措置」
講 話 内 容	<p>児童保健委員会の活動報告の後、学校眼科医、学校歯科医、学校内科医が出席して、それぞれが簡単にスライドを使って話をした。学校耳鼻科医は欠席されたが、事前に資料を出しておられて、養護教諭が代わりに発表された。私は PowerPoint のスライドを 10 枚ほど使い、歯の破折や脱落についてスライドで説明した。その前に養護教諭が保健室に来た児童の数を教えて下さった。歯科は 2016 年度：18 名、2017 年度：11 名で、そのうち歯科医院の受診者はそれぞれ 13 名、6 名と聞いていたので、ほかのけがなどに比べると数は少ないが、万が一、起こった時の対応を伝えた。</p>
質 問 事 項	<p>保健給食委員の P T A の方々も出席されていたが、私が説明した歯科のことで、そういう事は児童に浸透していますか？と鋭い質問をされた方がおられた。養護教諭が回答されて、歯牙保存液や牛乳は保健室に常時おいている、児童も高学年になると折れた歯を石ころと間違えないように運動場で探したりしているが、低学年はまだまだ難しいと思うので指導していきたいと言われた。</p>
感 想 ・ 課 題	<p>児童保健委員会の発表は 5 ・ 6 年生の保健委員 10 名が行った。6 月の歯と口の健康週間では、講堂で歯と口の健康について委員が発表していたことを知った。「かみごたえ度」のクイズやあいうべ体操も実際に 10 回行ったり、養護教諭指導のもと、児童たちは素晴らしい発表をしてくれた。テーマは「けがの予防と応急措置」であったが、これも平成 29 ・ 30 年度天王寺区で実施している日学歯の「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業」の一環であると思った。</p> <p>数年前から最初は学校歯科医の私が児童保健委員会の発表の後、歯の講話をして学校保健委員会をやっていたが、今年は 3 人で講話ができたことは嬉しい。</p>